

井川町教育委員会 11月定例会会議録

1. 日 時 令和4年12月5日（月）午後4時～午後5時15分

2. 場 所 井川町農村環境改善センター

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	齋藤正仁
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	佐藤聡子

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
主事	石川知里

5. 会議

(1) 報告事項

- ・人事案件について
- ・休日の部活動地域移行に関するアンケート結果について
- ・学習塾等利用に関するアンケート結果について
- ・全県中学校秋季大会の結果について
- ・教育委員会・公民館・学校関係行事予定について

(2) 協議事項

- ・令和5年度教職員定期人事異動方針について
- ・就学支援（教育支援委員会結果含む）について
- ・井川町総合教育会議について

(3) その他

6. 情報交換

7. 会議の経過

- 事務局長 今定例会の議事録署名員に小武海委員、遠藤委員を提案。
(全員提案を了承)
- 教育長 報告事項に入る。人事案件について事務局に説明を求める。
事務局長 (人事案件について説明)
- 教育長 続いて、休日の部活動地域移行に関するアンケート結果について説明をする。
(保護者・教職員・児童生徒のアンケート結果について説明)
- 委員 県中総体について、民間団体選手も出場できるよう緩和する方針を固めたそうだが、これで一気に部活動の地域移行が進みやすくなったように思う。
- 教育長 今までずっと学校対抗であることによってがんじがらめになっていた。だがしかしそう簡単にできるのか心配なところ。
- 委員 簡単にはなかなかいかないと思う。大会運営を誰がするのか、申込の取りまとめを誰がするのか、予算面などを考えると一気に進むのは難しいと思うが、動きは加速していこう。
- 委員 子どもの人数が減少していく中で学校対抗が難しくなっていること、教職員の働き方改革のためということから地域移行が進められていると思うが、井川町として今後どうしていきたいかということを考えていかなければならないと思う。
- 委員 学校の部活動と民間団体は全然違うものだと思う。似て非なるもの同士が同じ大会に出場することに違和感を覚える。
- 委員 部活にとらわれずに頑張っている子ども達が救われるのかなという思いはある。本当に実現できるのかという疑問もある。
- 教育長 今後協議会等で様々な議論が行われると思うが、そういった経緯をこの委員会でも報告をし、みなさんの意見を聞きながら町としての態度を決めていきたいと思う。総合教育会議でも話題にしたい。
- 教育長 続いて、学習塾等利用に関するアンケート結果について説明をする。
(塾利用状況、公設・民間・オンライン塾について説明)
- 教育長 資料をご覧いただき、次回の定例会の際に意見をいただきたい。今後近隣の状況を視察したいと考えている。
- 教育長 続いて、全県中学校秋季大会の結果について事務局に説明を求める。
- 事務局長 (大会結果について説明)
- 教育長 教育委員会・公民館・学校関係行事予定について事務局に説明を

求める。

- 事務局長 (教育委員会・公民館・学校関係行事予定について説明。)
教育長 協議事項に入る。令和5年度教職員定期人事異動方針についてみなさんからご意見を伺いたい。
(基本姿勢、重点人事について説明)
- 齋藤委員 教員の人数が減るといったことはないか。
教育長 教員の定数は変更ない予定である。
教育長 他にみなさんからのご意見等がなければ、このまま県へ要望してよろしいか。
- 全員 異議なし。
教育長 次に就学支援(教育支援委員会結果含む)について事務局に説明を求める。
- 事務局長 (来年度の就学支援、学級編成等について説明)
～教育支援委員会の内容について意見交換～
- 教育長 学校へ学級開設にあたり十分な準備について指導・助言することを前提にして、説明のとおり承認するというのでよろしいか。
- 全員 異議なし。
教育長 続いて、井川町総合教育会議について事務局に説明を求める。
事務局長 (12月19日の定例会後に開催する。部活動地域移行や公営塾、公民館事業について等みなさんからお話していただきたい。)
教育長 (他に無いことを確認して定例会を終了)